

## 健全な苗づくりを目指し

### 水稻育苗巡回指導

本JAは4月10日から24日にかけて水稻の育苗巡回指導を行いました。営農担当職員が管内の育苗ハウスを訪れ、生育状況を確認し追肥のタイミングや小まめな温度管理などを指導しました。

15日には、古川宮袋地区と畑中地区で3月末から4月上旬ごろに播種作業をした10戸の育苗ハウスを本JA職員が巡回しました。

3月末に播種をした畑中地区の三塚崇男さんは「今年は播種後に2回も積雪があり、寒さの影響で例年より生育が遅れた。今後はハウス内が暑くなりすぎないように管理を徹底して」と話していました。

本JAの担当職員は「生育は順調に進んでいる。播種後は寒い日が続いたが、最近では気温も上がり日照量も増えているので、温度管理に気を付けるように」と指導しました。

本JAでは、良質米生産に向け、健全な苗づくりを目指し、管内各地区で巡回指導をしています。



苗の生育状況を確認するJA職員(右)と三塚さん

## 新部会長に千葉孝幸さん

### 肉牛部会通常総会



新部会長に選任された千葉さん

本JA肉牛部会は4月19日、本店で第21回通常総会を開き、昨年度に引き続き良質牛生産に向けた巡回指導の強化に取り組みことや牛肉の輸出を継続することを決定しました。役員改選では、新部会長に千葉孝幸さん(敷玉地区)を選任しました。今年度の活動重点項目として掲げている巡回指導の強化により、仙台牛率のアップ、「みやぎつまれ・みやぎそたち」の付加価値の向上を図ります。また、地産地消への取り組みについて、本JAの担当職員は「今年は量販店などで部会員による販促活動を増やし、産地銘柄のPRを強化することで、生産販売全額の確保に努め、生産者所得の向上につなげていく計画です」と話していました。

同部会では、平成30年5月から牛肉の輸出に取り組んでおり、米国や香港、台湾などに向け22頭を輸出しました。

新役員は次の通り。(敬称略)

▽部会長 千葉孝幸(敷玉地区)

▽副部会長 高橋禎(長岡地区)、伊藤周公(西古川地区)

## 活動の更なる活性化を

### 青年部通常総会

本JA青年部は4月12日、グラウンド平成で第21回通常総会を開き、地域農業を守り、次世代に農業・農村文化を継承していけるような新たな課題の解決に取り組みながら、組織活動が活性化される活動をしていくことを確認しました。

佐々木秀和委員長は「昨年に引き続き様々な活動をしていきたいので、皆様の協力をお願いしたい」と挨拶しました。

来賓で出席した佐々木稔組合長は「青年部の情熱を一つにして新しい時代に向け、力強い一步を踏み出し、大きな飛躍の年にしてほしい」と祝辞を述べました。

青年部では、JAフェスティバルへの参画や女性部と合同でJA常勤理事との懇談会開催のほか、地域住民を対象としたイチゴ狩り体験、管内幼稚園への農業指導、地域農業の活性化に向けた手作り看板の作成など様々な活動をしています。



活動への協力を呼び掛ける佐々木委員長